

特別講演 2

「メタボリックシンドロームの診断とその予防・治療戦略」

医療法人川崎病院 副院長

中村 正 先生

近年、わが国におきまして、過栄養や運動不足により肥満人口が急増し、様々な生活習慣病の増加を招いています。その社会的背景をもとに 2005 年にわが国のメタボリックシンドロームの診断基準が提言されました。この病態は、腹囲径の増大で示される内臓脂肪蓄積を基盤に、脂質異常、血圧高値、高血糖などのリスクが集積する状態であり、診断の究極の目的は、心血管病の予防にあります。一昨年より、メタボリックシンドロームの概念を導入した、特定健診・特定保健指導制度が開始されたこともあり、社会的な関心が高まっておりますが、腹囲基準の問題などいろいろな議論がマスコミ等でなされているのが実情かと思えます。今回の講演では、メタボリックシンドロームの診断概念を正しく理解して頂き、それを予防し治療するには何がポイントかを、適切な薬物の選択を含めて、お話ししたいと思います。